

こしば新聞

令和5年1月16日(月) 54号



【お問い合わせ先】
自由民主党
東京都品川区第三十四支部
〒140-0014
品川区大井 5-6-2-101
☎ 090-6106-2272
Fax 03-6303-7037
※ご希望の方には新聞をお届け致しますので、ご連絡願います。

ご相談や区政へ
のご意見をお聞
かせ下さい。
☎ ゼヒラインも



新年を迎え

まわりました。

再選挙と決戦投票

昨年を振り返りますと「戦」が世界の世相を顕す一字となりました。意味合いは違いますが、戦でもある品川区長選挙が2度にわたって行われました。この再選挙となった区長選挙をめぐるのは多くの課題を如実に表したのではないのでしょうか。**再選挙には1億8千万円余の税金が使われ**ました。地域の方からは「お金をかけないで再選挙する方法はないのか?」「選挙の掲示板(公営掲示板)を再利用しないのか?」などといったお声を幾度も聞いてまいりました。区内の約480か所に設置された公営掲示板。これこそ、選挙の日程についてはシール

を張り付けて再利用することができたのではないかと思えます。また制度そのものの議論も今後はされるべきです。再選挙は何度も行われないうろろという希望的観測のまま制度を運用することがあれば多大な税金を消費することになりかねません。制度のために再選挙を続けていけば、行政の停滞を招くことになりひいてはその自治体の住民にとって不利益となります。そういう悪しき流れに対しては、戦後の昭和21年から28年にかけて、**決選投票制度が代替案として出されました**。投票数の8分の3以上に誰も届かなければ、「当選人なし」の告示から15日以内に上位2位までの決戦投票をするというものでした。私も今回の区

長選を通じて、多くの方から「前回と同じ候補者が立候補すれば再々選挙になるのではないか」「税金の無駄!」といった声を多数お聞きしました。地方議会の場で、再選挙という異例の事態に直面した当事者として、選挙制度の見直しに向けて取り組んでいきます。

昨年の陳情

日々地域で暮らす方から陳情や困りごとについて相談を受けています。昨年の前半はコロナにより営業活動を大幅に制限された個店の事業支援のお手伝いをさせていただきました。後半は特別養護老人ホーム入所、保育園入園についてのご相談、道路改善やミラーの設置などについて相談を受けまして対応しました。第8波が日本を襲っています。振り返れば2020年の2月からコロナの脅威が日本を覆い、同年の4月から非常事態宣言が発令されました。これまで活気のあった街並み、多くの外国人観光客の賑わいが瞬く間にその光景は過去のものとなりました。2021年からコロナのワクチン接種が始まり、これでようやくコロナは減少し、出口の光が見えてきたと思われました。しかし、ワクチンの接種率が上がっても感染者は減るどころか増えていく昨今。一方でワクチン接種による副反応の被害も報告が厚生労働省から公開されています。公開情報によれば



て、当日は寒い中を何時間も奉仕される姿に頭が下がる思いで各神社を

新年明けましておめでとうございます。皆さま、年末年始はいかがお過ごしされたでしょうか。皆さまも地域の神社に一年の祈願をされたことと思います。私は毎年、年末年始に地元の滝王子稲荷神社をはじめ、鹿嶋神社、大井蔵王権現神社、鮫洲八幡神社、濱川天祖諏訪神社に新年のご挨拶に伺っています。今年はいよいよコロナ前に戻りつつある中で、初詣をいたしました。地域の方が前もって準備をされて、当日は寒い中

審議会が行われた昨年の12月時点で、1707名が死亡。アナフィラキシーや心筋炎、心膜炎といった症状が出た方の数は、昨年の11月までに3千人弱でした。ワクチンを打っても感染するときは感染すること。そして副反応が出ることもある。という不安感の中で日々多くの方が暮らしているのが現状です。不安感の中で差別やいじめが社会で、学校で行われていることも事実です。品川区ではコロナ感染者等に対する人権侵害が行われないよう呼びかけると共に、ワクチン接種は本人の意思に基づき受けてもらうものであり、接種の強制や接種しないことで不利益な扱いがされないよう呼び掛けています。私は今の社会を覆う不安感を取り除くには、地域の状況を把握することにあると考えます。この現状のまま社会や地域の時間がただただ流れていくことを見過ごすわけにはいかないのです。私はコロナの感染防止をしつつ、経済を回していくこと、街や地域に活況のあった光景を取り戻すこと

が必要と考えます。地域の活況を取り戻すには、まずは子供の黙食を少しずつ緩和していくこと。子供は喜怒哀楽を顔に表現しますので、すぐに、笑顔かな？怒っているかな？ということが手に取るようにわかります。子供の表情を奪ってしまいかねないマスク生活からの脱却を政府そして品川区がその方向に向けて動き出してもらいたいと考えます。

区政情報

森沢恭子区長の下で、新たな品川区政が動き始めました。昨年の12月20日から始まり、2日に閉会しました。1月12日に閉会しました。12日に行われた定例会では、5億2千万円におよぶ補正予算案が審議されました。内容は、子育て世帯への支援。妊娠届け出時に5万円分、出産時に10万円分の応援ギフトが送られてきます。こちらは東京都のママパパ応援事業の環境でしたので財源は東京都です。そのほかに、区長の歳費2割カットや副区長の人事案に

ついて委員会などで審議されました。昨秋に任期満了した桑村副区長が再任されました。

定例会のポイント

- ① 補正予算案
妊娠届け出時↓5万円
出産時↓10万円分の
応援ギフトを送付
- ② 区長歳費2割カット
- ③ 桑村前副区長の再任

新庁舎の動き

森沢区長が誕生し、ようやく答申書が担当の委員会から区長に手渡されました。この答申書を土台にしまして品川区は新庁舎の整備基本計画を策定し、事業者の選定に取り掛かります。この答申書の資料には区民からも多数の意見が載せておりましたのでその一部を紹介します。
〈整備の方向性・コンセプト〉
区民に便利で使いやすい施設にしたい
〈区民サービス〉
区民のライフステージに合わせた窓口。手続きのワンス

トップ化や充実した相談対応。〈防災〉
地震などによる停電が発生した場合でも業務が遂行できるような自家発電機能を備えた庁舎に。

〈ユニバーサルデザイン〉
ベビーカーや車椅子に優しい環境を。

〈DX〉

庁舎に来なくても手続きができる仕組みを。AIによりオペレーションをスムーズに。

〈併設施設〉

ドッグラン・大規模保育園・図書館の創設や有名なカフェエーの誘致など。

私は犬を飼っていませんが、地域の方からも飼い犬を自由に走らせたけれどその場所がないというご意見を聞きます。私も最近は、YouTubeなどでかわいらしいポメラニアン動画を見て癒されています。リードをつけずに思いっきり自由に走り回る犬、とても活き活きとしています。家族同然でもあるペットが生き生きと走り回れるドッグランが品川区の中心地に誕生すればまた新たな品川区の魅力を作り

今年も区議選

出すことにもなると考えます。残り3か月となりました品川区議会議員選挙。すでに10名以上の新人候補予定者が名乗りを上げているとの情報がありますので、2019年の選挙（当時は51名が立候補）よりも候補者が増えると思われるされています。告示日は4月16日、投票日は4月23日です。フェイスブックでも書きましたが、この1月ころから現職の候補予定者は朝の駅頭をはじめ、選挙に向けた活動にギアが入ります。本来であれば、普段の活動の延長線上に選挙があり、任期4年の審判を区民の皆様にご託すことが民主主義の要ではないかと考えます。前回の選挙以来、区政をお伝えしようと2019年の5月から始めた「こしは新聞」。愚直に続けてきまして、ようやく54号目に突入しました。これからも真摯に愚直に、区政の発信に努めてまいります。今年一年、宜しく願っています。（了）